

都心方面への輸送力を増強し混雑緩和を推進します！ 大井町線急行列車の7両編成化と新型車両6020系の導入

東京急行電鉄株式会社

当社は、大井町線の「都心方面への輸送力増強」を目的に、11月4日(土)以降、急行列車を6両編成から7両編成に順次変更し、来春に新型車両6020系を導入、さらに2018年3月にはダイヤを改正し、輸送力を増強させて混雑緩和を推進します。また、ホームドア設置などの安全対策にも引き続き取り組みます。

1. 急行7両化とダイヤ改正による都心方面への輸送力増強

大井町線は2008年3月から急行運転を開始して利便性を向上させ、多くのお客さまのご利用により混雑率も上昇しています。今回、混雑緩和と利便性向上を目的に、11月4日(土)以降、急行列車を6両編成から7両編成に順次変更します。全6編成の7両編成化完了は、2018年3月を予定しています。

また、2018年3月にはダイヤ改正を実施し、朝ラッシュ時間帯の運転パターンを変更します。急行列車の運転本数を増やすことで、7両編成化による輸送力増強と合わせ、大井町線の混雑緩和を図ります。あわせて、日中時間帯は各駅停車も増発し、利便性向上を目指します。

2. 新型車両6020系の導入

大井町線急行列車として、2018年春に新型車両6020系の導入(7両×2編成=14両)を予定しています。この電車は、田園都市線の新型車両「2020系」と同様、車内には「ナノイー(※)」方式の空気清浄機を設置し、座席は背もたれの高いハイバック仕様を採用することで、車内の快適性向上を図ります。また、ドア上に配置するデジタルサイネージでは、多言語案内を強化するとともに、ニュースや天気予報など充実した情報サービスを提供します。

3. 安全対策とサービスの向上

安全・安心に利用できる鉄道を目指し、ホーム上の安全対策として、2019年度までに東横線・田園都市線・大井町線全64駅のホームドア整備を目指しています。今年度大井町線では、荏原町駅および九品仏駅でホームドアの運用を開始する予定のほか、荏原町1号踏切や緑が丘3号踏切には、3D式踏切障害物検知装置に更新を行うなど、路線全体の安全対策の強化を進めます。



▲7両化される急行専用車両6000系



▲新型車両6020系イメージ 以上

(参考) 本日、この資料は国土交通記者会、都庁記者クラブ、ときわクラブ、国土交通省交通運輸記者会、川崎市政第一記者クラブ、横浜経済記者クラブにお届けしています。

本リリースに関するお問い合わせ先

東京急行電鉄株式会社 社長室広報部広報課 報道担当

TEL:03-3477-6086

大井町線輸送力増強施策の詳細

1. 急行7両化・ダイヤ改正による都心方面への輸送力増強

(1) 急行7両化

運行開始日: 2017年11月4日(土)以降順次変更

全6編成完了予定時期: 2018年3月

7両化に伴うホーム延伸

対象駅: 大井町駅、旗の台駅、自由が丘駅

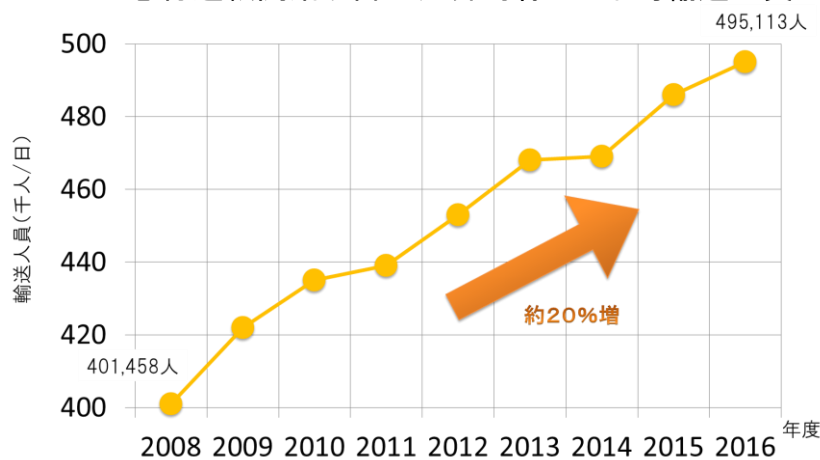
(2) ダイヤ改正

改正時期: 全急行列車の7両編成化が完了する2018年3月

内容:

朝ラッシュ時間帯の運転パターンを変更し、急行列車の運転本数を増やすことで、7両編成化による輸送力増強と合わせ、大井町線の混雑緩和を図ります。また、日中時間帯の各駅停車も増発します。

▼急行運転開始以降の大井町線1日平均輸送人員



2. 新型車両6020系の導入

(1) 導入予定時期: 2018年春

(2) 導入編成数: 2編成(7両×2編成=14両)

(3) 主な機能

- ・「ナノイー(※)」方式の空気清浄機を設置
- ・背もたれの高いハイバック仕様の座席を採用
- ・ドア上に配置するデジタルサイネージの多言語案内や、情報サービスの充実
- ・防犯カメラの設置による車内のセキュリティの向上
- ・全車両にフリースペースを設置し、バリアフリー対応を強化するとともに、編成全体の定員を増加
- ・車両機器を常に監視できる大容量情報管理装置を設置し、車両故障の未然防止を図り、運行のさらなる安定化を実現
- ・騒音、使用電力の低減

※「ナノイー」はパナソニック株式会社の商標登録です



▲6020系 エクステリアイメージ



▲6020系 インテリアイメージ

3. 安全対策とサービスの向上

(1) ホームドア整備

2019年度までに東横線、田園都市線、大井町線全64駅のホームドア整備を目指しており、今年度は大井町線の荏原町駅、九品仏駅の2駅を含む東急線内14駅に設置予定です。

▼3路線のホームドア 今年度末運用予定駅数(累計)

東横線	18駅	全21駅
田園都市線	8駅	全27駅
大井町線	8駅	全16駅
合計	34駅	全64駅

(2) 3D式踏切障害物検知装置整備

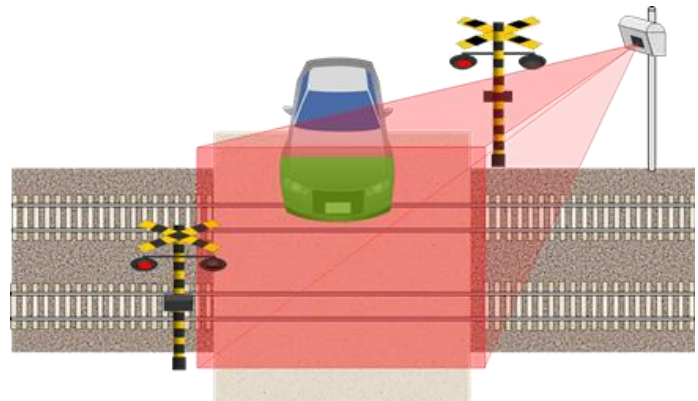
踏切の安全対策として、踏切内を立体的に検知できる3D式踏切障害物検知装置の設置を進めています。今年度大井町線では、荏原町1号踏切、緑が丘3号踏切の2つの踏切に、3D式踏切障害物検知装置の設置が完了、さらに自由が丘4号踏切にも設置を予定し、東急線内全135踏切のうち、設置踏切数は61か所に整備される予定です。

▼3D式踏切障害物検知装置 今年度末設置踏切予定数(世田谷線・構内踏切を除く)

大井町線	11踏切	全32踏切
合計	61踏切	全135踏切



▲ホームドア



▲3D式踏切障害物検知装置
レーザー光による障害物検知のイメージ

以 上